

科目名		教育方法・技術			担当教員名	森田 英嗣	
該当DP	2	単位数	1単位	選択	配当年次	2年次・第3セメスター(後半)	
曜日・時限		金曜日・5限目			教室	オンライン授業	
授業概要		教育の方法・技術の本質を、代表的な単元構成法と教育方法の、理論的・実践的理解を通して探りたい。グループディスカッション等を導入し、参加型講義の形で、他の受講生とともに集団的な理解を形成できる形を目指したい。					
到達目標		1) 代表的な単元構成法である「逆向き設計」の理論を実例を通して習得し、自らの単元構成案に活用することができる。 2) 代表的な教育方法を、理論とともに体験的に習得し、教授・学習過程上の強みと弱みを考察することができる。 3) 実習の指導・支援法に関する基本理論を知り、実際の実習指導に活かす意欲を持つことができる。 4) 2)で学んだ教育方法の一部について、具体的な授業の構想に活用することができる。					
回	日程	見出し	内 容			実践的な授業方法	
1	6/19	学ぶということ	全8回のガイダンスを行うと同時に最終レポート課題を予告する。さらに、「学ぶ」ということの実例を受講者の経験にも探り、教授・学習過程の本質について考察する。[グループディスカッション]			○	
2	6/26	単元の設計法(1)「逆向き設計」の理論	「逆向き設計」の考え方を、設計、実施、評価の側面から実例とともに知り、各自がその考え方に基づいた単元案を構想する。				
3	7/3	単元の設計法(2)「逆向き設計」の実践	受講生各自が作成した「逆向き設計」の考え方による単元構成案を受講生同士で相互批評をすることで、「逆向き設計」の考え方を活用する場を構成する。[グループディスカッション]			○	
4	7/10	さまざまな教育方法(1)講義法と参加型学習法	講義法と参加型学習法を対比させ、習得・活用・探究の段階別に、その強みや弱みを考察する。[グループディスカッション]			○	
5	7/17	さまざまな教育方法(2)討議法①ワークショップとしてのジグソー学習法	ワークショップ方式による討議を通じた授業の方法とその教授・学習過程について体験的に考察する。[グループディスカッション]			○	
6	7/24	さまざまな教育方法(3)討議法②集団討論	集団討論を活用した授業の方法とその教授・学習過程について体験的に考察する。[グループディスカッション]			○	
7	7/31	実習の指導・支援法	受講生の実習体験を振り返りつつ、臨地実習の意義と目的を踏まえ、シミュレーション教育にも触れながら、その指導・支援法のあり方を考察する。[グループディスカッション]			○	
8	8/7	まとめと討論	本講義で学んだ方法を用いた単元案づくりのレポート課題を提出する。各受講生の構想について、他の受講生が改善案を提供する形で本講義のまとめとする。[グループディスカッション][プレゼンテーション]			○	
キーワード		逆向き設計、教育方法、教授・学習過程、実習指導			履修条件	なし	
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。					
	参考書(任意購入)	G.ヴィギンズ, J.マクタイ著『理解をもたらすカリキュラム設計-「逆向き設計」の理論と方法』(西岡加名恵訳), 日本標準, 2012年					
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①各回の授業・課題の取り組み状況(60%)、②レポート課題の達成度(40%)、[①授業への積極性、②到達目標を踏まえ、講義内容を十分理解しているか否かを評価します。]					
授業時間外に必要な学修		受講生の皆さんが個々に知識や関心をお持ちの事柄につき、本講義で学んだことを活用して、単元案や教材案を作成していただきます。					
学生へのメッセージ		受講生の皆さんのこれまでの学習経験(の記憶)も教材にして、主体的な学習を引き出す方法について、一緒に考えていきたいと思います。					

※ 授業の日程については変更する場合があります。